

望ましい学級集団を育てる係活動の工夫  
— 中学年の活動を通して —

目 次

I	テーマ設定の理由	81
II	研究の仮説	81
III	研究の全体構想図	82
IV	研究の内容	83
1	望ましい学級集団について	83
2	学級づくりと係活動	84
(1)	学級づくりにおける係活動の意義	84
(2)	係活動の位置づけと指導の方針	84
(3)	係についての意識調査	85
3	係活動を活発にする指導の工夫	86
(1)	係編成時の工夫	86
(2)	活動計画を立てる段階での工夫	87
(3)	実践活動中の工夫	87
(4)	活動の反省の工夫	87
(5)	係内での効果的な話し合い	87
4	係活動年間の見通し	88
V	活動の実際	89
1	係編成	89
2	係見直し	90
3	係の発表会	93
(1)	発表会の計画	93
(2)	発表会	98
	計画から発表会までの活動の様子	99
VI	研究の成果と今後の課題	100
	<参考文献>	

## 望ましい学級集団を育てる係活動の工夫

— 中学年の活動を通して —

宜野湾市立志真志小学校 教諭 島尻 律子

### I テーマ設定の理由

「人間は、社会的動物である。」といわれるように、集団からの教育的影響力は大きいゆるやかな集団指向へと流れているといわれる現代、人間関係の希薄さは、対人関係の未熟さを生み、その結果、学校不適応や問題行動を起こす児童が増えている。

特別活動のねらいは「望ましい集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深める」ことであり、集団からの教育力の大きさを考えるとき、よりよい集団づくりは、今、最も取り組まなければならない課題だと考える。

現在の学級の子供達は、ギャングエイジさながら、明るく活動的である。集会活動で、アイデアを出し合って楽しんだり、日直の仕事を喜んでやるなど、学級生活の中で自分の出番があると、嬉々として、意欲をもって取り組む。

そのため、係活動に対する興味関心も高い。学期始めの係決めや、活動計画の話し合いには、どの子も、積極的に参加し、やる気を示す。しかし、学期が進むにつれ、活動がマンネリ化し、パターン化し、徐々に停滞していく。

そこで、問題点を取り上げ、その手立てを、考えてみた。

- ① 係が当番的で単調であり、創意工夫がない。
- ② お楽しみのなものにかたより、めんどうなもの、時間が掛かるものは、停滞が速い。
- ③ 他の係に興味を示さず、係内で協力する場面も少ない。

しかし、子供達はエネルギーで、好奇心旺盛であり、生き生きした係活動のできる土壌は、備わっていると思われる。どうして、生き生きした係活動ができないのか。

その原因として、

- ① 一人一人を認め、それぞれの個性を見つけて互いに認め合うような努力をしたか。
- ② 「なにを、どのように、どうする」と、細かな手立てを指導し子供とともに考える場があったか。

- ③ 児童が創意工夫する環境づくり、場の設定をし、計画、実践、賞賛、評価等をして充実した係活動を体得するような配慮をしたか。

等、担任として反省する点が多い。

そこで、係編成（係の人数、取り方、種類など）の工夫、創意工夫の為の手立て、発表の場の工夫と実践を通して、生き生きした係活動を育てることができると考える。

一人一人の自主性、主体性に支えられた活発な係活動は、学級活動全体を充実させるとともに、互いの良さを認め合い、支え合う凝集性の高い、よりよい学級集団を育てることにつながると考え、本テーマを設定した。

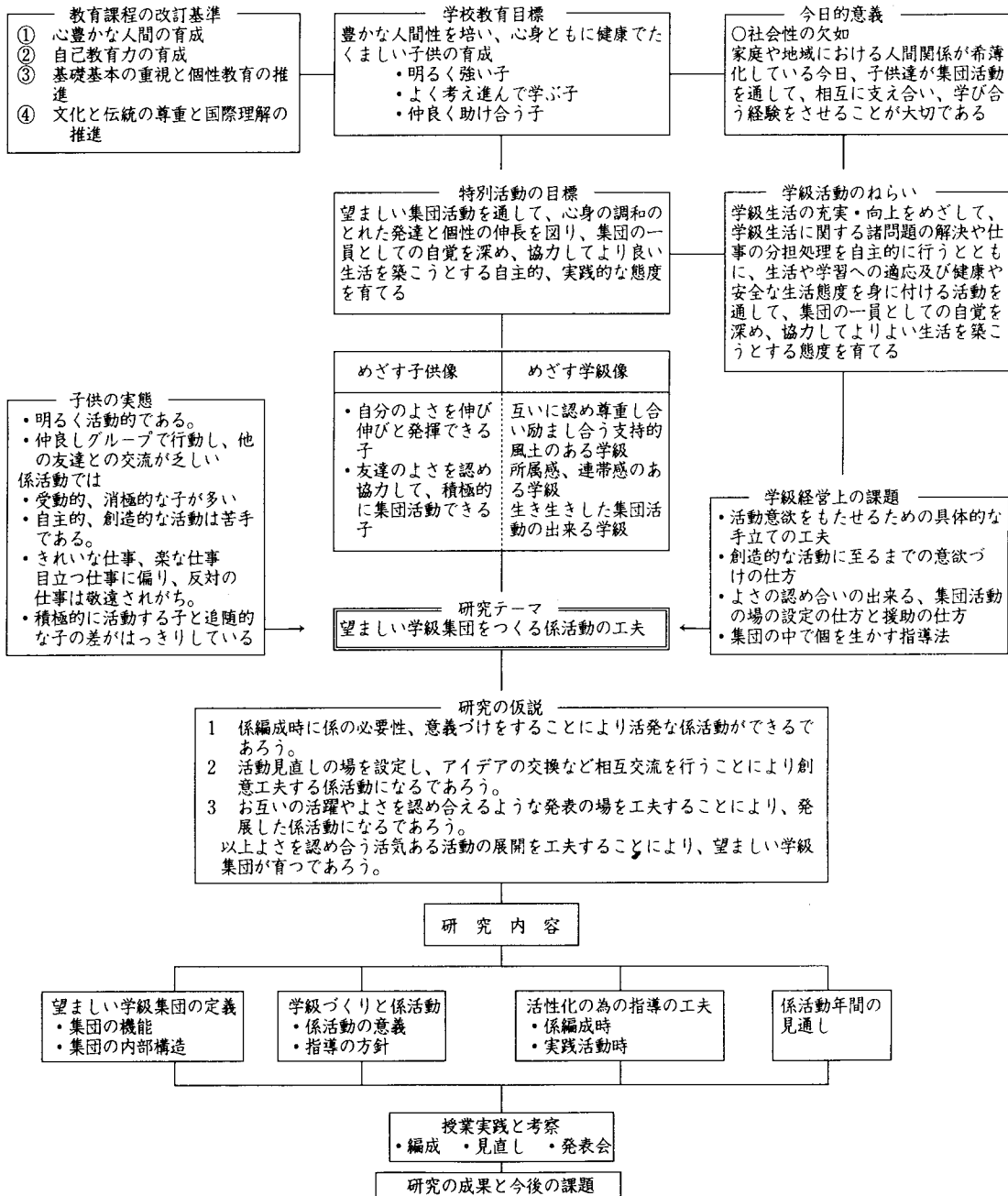
### II 研究の仮説

- 1 係編成時に、係の必要性、意義づけをすることにより、活発な係活動ができるであろう。

- 2 活動見直しの場を設定し、アイデアの交換など、相互交流を行うことにより、創意工夫する係活動になるであろう。
- 3 お互いの活躍や、よさを認め合えるような発表の場を工夫することにより、発展した係活動になるであろう。

以上、よさを認め合う活気ある活動の展開を工夫することにより、望ましい学級集団が育つであろう。

### III 研究の全体構想図



## IV 研究の内容

### 1 望ましい学級集団について

いろいろな個性や特徴を持った子供達、又、お互い見知らぬ他人同士が学級に集う。この「群れ」のような状態からスタートした学級を、目標を持たせ、生き生きした活動をさせ、子供達にとって、魅力ある学級集団として育てあげていくことが、学級経営における担任としての願いである。

望ましい学級集団を捉える視点は、集団の機能（教師の側から）と集団の内部構造（生徒の側）から捉えることができる。

#### (1) 集団の機能（役割）……教師の側からの視点

学級集団は、集団維持機能と、目標達成機能を持つ。望ましい学級集団とは、①教師—児童間及び児童相互の人間関係が望ましいものになっている（集団維持機能）

② 共通の課題の達成に向かって前進している学級（目標達成機能）である。

#### (2) 集団の内部構造……生徒の側からの視点

##### ① 組織関係（地位、役割関係）

学級集団が、その目標を達成する為に、学級の生徒達が目標について共通理解を持ち、合意に基づいて目標達成の為に組織をつくり、それぞれが役割を分担して、集団活動をしていく。

##### ② コミュニケーション関係（人間関係）

集団が活動すれば、児童間に相互交流が交われ児童どうしの人間関係が結ばれていく。このコミュニケーションの流れが停滞すれば、集団の機能に障害が生じ、それにつれて組織も悪化する。

##### ③ 心理関係（ソシオメトリック関係）

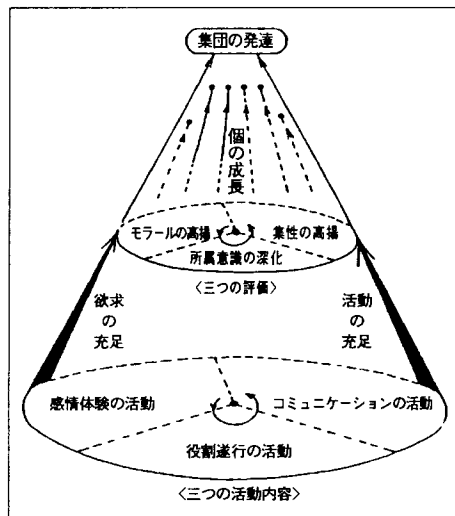
新しく編成された学級集団では、児童間の人間的結びつき（心理的結合）は弱い。しかし、集団活動を経験していく中で、児童間に心理的に密接な関係や、反発関係が生じてきて、その学級特有の雰囲気が生じてくる。これを心理関係という。  
※以上の三つは、相互に絡み合い、影響し合って、プラスに働く時、望ましい集団として発達する。

集団の機能と、集団の内部構造の視点から、望ましい学級集団を定義すると

#### (3) 望ましい学級集団とは

① 学級内に、いじめや不和がなく、まとまりがあり、児童一人一人が、心理的に安定し、相互に望ましい人間関係で結ばれている学級。

② 学級集団に、共通の目標が作られ、一人一人の仕事の分担が明確であり、児童はその仕事をやりとげる知識と技能を学び、意欲的に活動している学級。



## 2 学級づくりと係活動

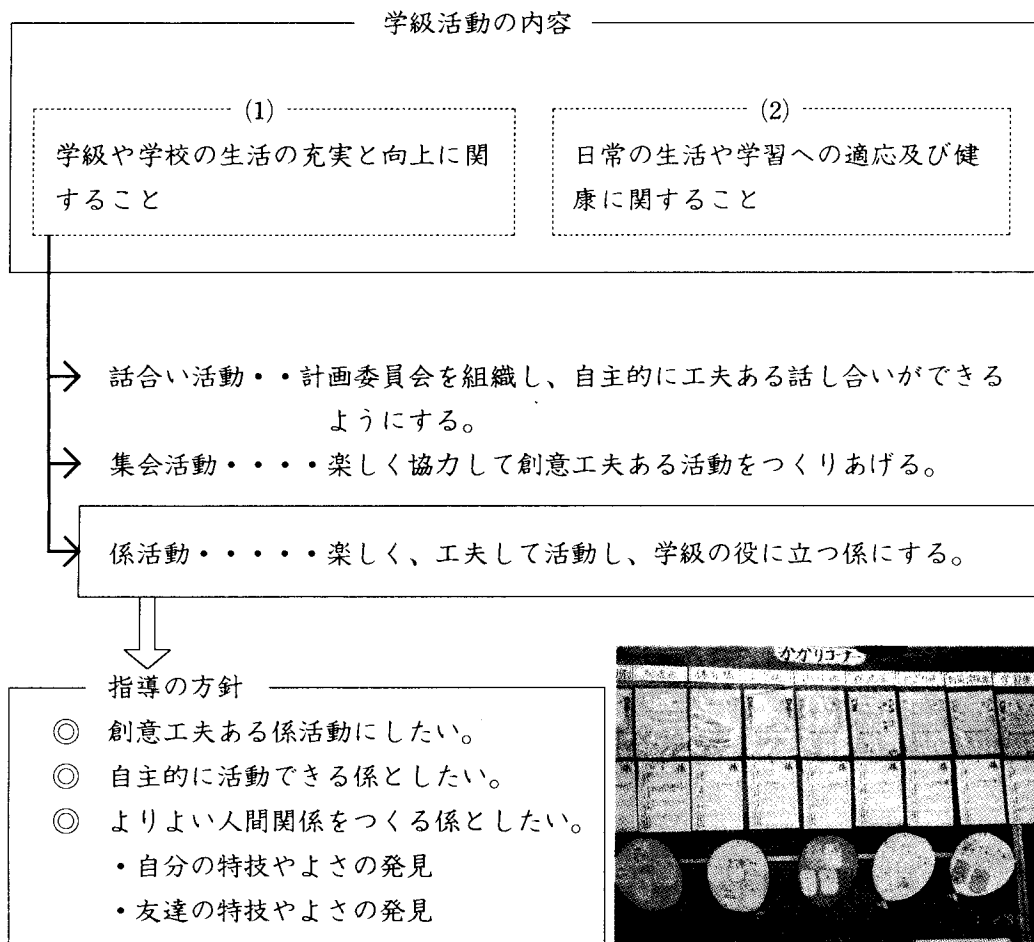
### (1) 学級づくりにおける係活動の意義

望ましい学級とは、①児童が心理的に安定し、相互に望ましい人間関係で結ばれている。②目標を持ち、活発な集団活動が営まれている学級ということである。

特別活動はその目標に「望ましい集団活動を通して」とあり、それを受け係活動は「学級の全員が何らかの役割や仕事を分担しさまざまな創意工夫を取り入れ、よりよい学級にする為、いくつかの係に分かれ、自発的に行う活動である。そして、その活動を行うことにより、学級集団の一員としての自覚を高め、健全な自主性や社会性を養い、個性の伸長を図る」ことをねらいとしている。

そこで、活動自体を活性化（自主性や創造性を育てる）する手立てを工夫すると共に、自分の特技を生かし、自分や友達の“よさ”を発見できるような、よりよい人間関係づくりのできる活動の展開を工夫することにより、望ましい学級集団を育てることができると思う。係活動は学級づくりの要となり得ると考える。

### (2) 係活動の位置づけと指導の方針



(3) 係についての児童の意識調査

係活動活性化の為の指導のポイントを得るためアンケート調査を行った。

① アンケートの内容と結果

係活動についてのアンケート 4の2 ( )		
1. 自分の係の仕事をよくやりますか。		
ア, 進んでやる	イ, よくやっている方だ	ウ, あまりやらない
(7名)	(22名)	(6名)
2. あまりやらないのはなぜですか。(ウの人だけ答える)		
ア, やりたい係ではないから	イ, めんどくさい	ウ, やる事がわからない
(2名)	(1名)	(3名)
3. あなたは、どんな時係の仕事をがんばりたいか。(いくつ選んでもよい)		
ア, 自分の希望した係に入れた時(やりたい仕事だった).....	19名	
イ, みんなと同じように仕事をした時.....	11名	
ウ, 係の仕事をしないとクラスが困る時.....	8名	
エ, 先生にほめられた時.....	13名	
オ, 友達にほめられたり認められた時.....	9名	
カ, 先生に仕事をがんばるように言われた時.....	13名	
キ, 友達に仕事をがんばるように言われた時.....	7名	
ク, 助け合う友達がいた時.....	20名	
ケ, 仕事のやり方や工夫が分かったとき.....	19名	

② アンケートの分析と考察

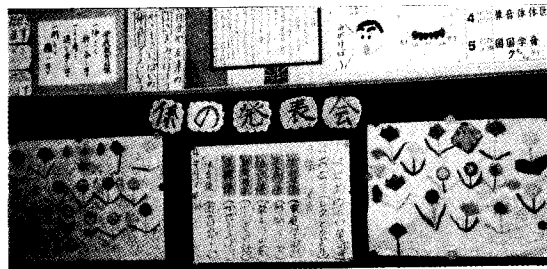
○ 8割の子が、係の仕事を責任をもってがんばっていると答えている。集団活動を好む中学年らしく係活動に対する興味関心も高いようだ。

- 「どんな時、係をがんばりたいか」では、6割近くの子が
  - ・自分の希望した係に入れたとき(やりたい仕事だった時)
  - ・助け合う友達がいた時
  - ・仕事のやり方や工夫が分かったとき と答えている。

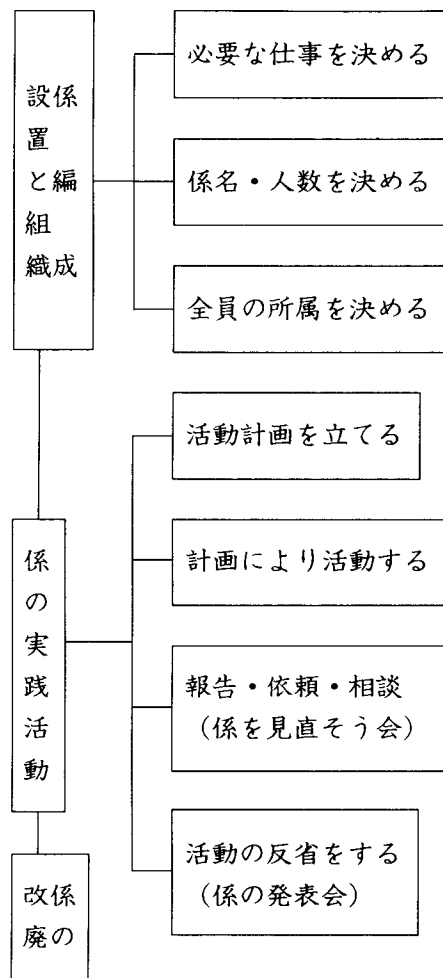
以上の分析と考察の結果、及び、教師の指導の方針と考え合わせ、

※ 係活動活性化の指導のポイントは

- ・係の所属についての配慮
- ・創意工夫の仕方の援助
- ・係内の人間関係への配慮



### 3 係活動を活発にする指導の工夫



#### (1) 係編成時の工夫

- ① 係のねらいについて理解させる。
  - ・学級を明るく豊かにする為の係活動
  - ・みんなの工夫とアイデア、趣味、特技をいかしていくもの。
  - ・やって楽しい、おもしろい活動。その結果として、クラスの為に役立つ活動。
- ② 工夫の仕方アイデアの生かし方を説明する
  - ・単純で機械的、つまり、同じ事の繰り返しの中から工夫は生まれない(例えば、テレビ係、つけたり消したりの中に工夫は必要ないし、又生まれない)
  - ・当番活動と係活動の違いを気付かせていく

#### 当番活動とは

- ・教師の補助的な仕事が多く、始めから活動内容が決まっていたり、創意工夫の余地が少ない活動。
- ・窓の開閉、花の水かけ、生き物の世話など生活を管理する傾向が強いもの。

#### 係活動とは

- ・児童の必要性からつくられ、興味や関心、希望や特性が生かされる活動
- ・児童の話合いにより方法、手順、役割、分担などの詳しい活動計画を立てて実践する

- ・文化的、創造的な仕事(音楽係、新聞係、図書、スポーツ、ゲームなど)  
(体育係の体操や用具の準備はお手伝いの。係としての活動にしていくためには楽しい遊び紹介、スポーツの紹介などを組み込んでいく)

- ③ 係の名前を工夫させる。
  - ・係の名前をユニークなものにすると、活動自体を活発にし、創意工夫する意欲づけとなる。(保健係→ニコニコ110番、生き物係→わくわく動物ランド)など
- ④ ユニークで面白そうな係を設定する。
  - ・なぞなぞ係、クイズ係、手あそび係、イベント係、ニュース係、紙芝居係など
- ⑤ 所属について
  - ・所属の希望は原則として認める  
「この仕事なら自分のアイデアが生かせそうだ」「〇〇さんとならすすんで働けると思う」という児童の希望をかなえてあげることが、活動の意欲を高める。
  - ・友達からの推薦をうけて係の所属をする。  
「〇〇さんはスポーツが得意です。体育係に推薦します」

⑥ 人数について

- 一つの係に多くの希望者が集まったら、仕事内容を整理する。  
(新聞係に希望が集中したら、二つにわけると。社会科新聞、情報新聞など)

(2) 活動計画を立てる段階での工夫

① 活動計画表について

- 活動内容、役割分担を明確にし、月の予定や週の予定を立てさせた活動計画表を作成し、掲示する。(いつ、だれが、なにをやる)
- 毎月する活動の他に、「その月に工夫すること」を計画表の中に入れる。

② 活動時間を確保する

- 朝の会や帰りの会、放課後の時間だけでなく、月4回ある学級活動の時間の内1回(一単位時間)を定期的に活動時間として位置づける。

(3) 実践活動中の工夫

① 報告、依頼、相談の活動を活発にする。

- 受け持った係の仕事を係内でやるだけでなく、係以外の友達にも積極的に働きかける。友達にたいし協力依頼し、その結果、友達からの協力が得られれば、活動がより活発になる。(朝の会、帰りの会で、係の出番をつくる)
- 活動がマンネリ化してきたら「係へのお願いカード」や「アイデアカード」に要望や活動の工夫を記入してもらい、それをもとに「係の見直し会」などを持つ。
- 係が決まった時点では、教師の細かな指導や情報提供が創意工夫ある係活動を育てる。活動が軌道に乗れば、活動自体を見守り、子供の自主性にまかせる。

(4) 活動の反省の工夫

① 「係の自慢発表会」をする

- 学級の一人一人の為に役立つ仕事をしたり、楽しくなるような仕事をしている係を互いに認め合わせるようにする。この意識をひろげることにより、仕事をさらに見つけたり、工夫することに、つなげることができる。

② 評価の仕方を工夫する

- 創意工夫という観点から、各係ごとの自己評価と学級全体での相互評価を重点とする。

(5) 係内での効果的な話し合い(プレーン・ストーミング法)

- 活発な話し合いの中から創意工夫ある活動も生まれる。プレーン・ストーミング法は①良い悪いの批判をしない②奔放な発想を歓迎する③発言は多いほどよい④他人のアイデアや意見を結合し、改善しても良いを原則に成員たちがどんどん発言する。記録係は、みんなに見えるかたちで逐一記録する。発言が出つくした時点で、全員で吟味し検討する。そして、優れたアイデアを拾いあげていく方法である。この過程は討論によるが、その際、問題になっている意見の最初の発言者が誰であるかは、問わないようにする。

各係の活動の方法や、過程などの計画や反省、改善などの段階で活用すると効果的である。



#### 4 係活動年間の見通し

中学年の係活動の発達段階における特徴は、小集団で役割を分担し、係の種類や仕事の内容に応じて、計画を立案出来るようになり、継続的、協力的に活動できるようになる。その為、係の育成期といえる。学級集団発達の過程に則した係活動の年間計画を立て見通しを持って指導にあたりたい。

##### ◎ 学級集団の経営方針

- ・お互いの良さを認め合い高め合う学級
- ・協力して活発に集団活動出来る学級

##### ◎ 係活動のねらい

- ・楽しく工夫して活動し、学級の役に立つ係にする

係年間の見通し（二学期を係の質を高める段階とし、指導の重点時期とする）

学期	学級集団形成の段階	係活動	活動のねらい	月	◎題材（学級活動 一単位時間） ○朝の会、帰りの会 放課後、裁量の時間 を活用	活動の内容
一学期	◎学級の仲間意識を育てる時期 ・学級集団の一員としての自覚をもたせる	発 足 の 段 階	○自由に活動させる。 ・自分達の考えで自由にできることを理解させる。	4	◎一学期の係をきめよう ○係の活動計画を立てよう	・係の意義、必要性を話し合う ・所属を決める ・係のめあて、一学期のおおまかな計画 ・メンバーの役割分担
				5	○係の三大自慢発表会	・がんばったことの発表 ・画用紙に書いて掲示、イラストや実物も添える
				6	◎係のバッジをつくろう	・係への所属意識を持たせる ・各係に相応しいデザインとする
				7	○一学期の活動の記録の整理をしよう	・活動の記録を掲示物にする ・他の係の記録も見合って評価しあう
二学期	◎学級のまとまりを高める時期 ・互いに認め合い、協力して活動する態度を育てる。	質 を 高 め る 段 階	○創意工夫し、自主的に活動できるようにする。 ・人間関係づくりの深化、拡大をめざす。	9	◎二学期の係を決めよう ○係の活動計画を立てよう	・係の意義、必要性、学級目標とのかわりについて話し合う ・当番活動との違いについて気付かせる ・工夫ある活動内容を考える
				10	◎係コーナーの工夫をしよう	・活動の計画やお願いについて知らせるコーナーにする ・必要な用具棚の設置
				11	◎係活動を見直そう	・係の反省カードを利用し活動を見直す ・係ごとにアイデア交換をする ・工夫ある活動計画を立てる
				12	◎係の発表会をしよう ◎係の発表会	・工夫したこと、がんばったことの中から発表する。 ・三学期の活動の意欲づけとなる発表にする。
三学期	◎魅力ある学級集団を確立する時期 ・所属感、連帯感を味わう。 ・お互いの成長を確かめ合う	た文 せ化 る性 段を 階持	○活動内容をより文化的なものに盛りあげていく。	1	◎三学期の係を決めよう ○係の活動計画を立てよう	・二学期の活動を参考に工夫ある活動になるよう計画する
				2	○係新聞をつくろう	・特別な活動の計画、係ニュース、係クイズなど、係をPRする内容にする
				3	◎三学期の係に賞を送ろう	・それぞれの係のがんばりをみとめる。 ・協力、工夫、役立つ、継続など、ほめる観点について話し合う

## V 活動の実際

### 1 係編成……………学級活動 (10月 8日)

#### (1) 活動の流れ

- ① 係活動を振り返る視点を与える為、事前に一学期の係についてアンケート調査を行った。
- ② アンケートをもとに各係が集まり、反省をまとめ発表した。  
発表の内容は
  - ・「忘れ物調べや家庭学習をがんばった」
  - ・「体育の時間は、準備体操をさせたが、皆が並ばないので困った」
  - ・「新聞を仕上げようと思ったが、放課後使える時間がなかった」など
 単調な活動で、時間がない、やる仕事がない、などの問題も出された。  
楽しいと感じている係では、点検や、教師の手伝い的な係がほとんどだった。
- ③ 二学期の係活動の「ねらい」について話す。
  - ・「活動していて楽しい係にしよう」
  - ・「工夫したアイデアを生かした係にしよう」
  - ・「クラスの役に立つ係にしよう」
 ★ 工夫の仕方について話す
  - ・「同じことの繰り返しでは工夫は生まれない」
  - ・「自分の特技を生かすとよい工夫が生まれる」
  - ・「自分の好きな係に入ると工夫が生まれる」
  - ・当番活動と係活動の違いについて話す。
- ④ 係編成を行う。
  - ・所属は自由とし、人数の制限はしない。
- ⑤ 放課後係グループに分かれ、係のねらいや、活動計画をたてた。

●一学期の係●	
生き物係……	カメの世話
5人	・学級園の水かけ
レク係………	・お楽しみ会の準備
7人	・朝の歌の指揮・ダンス
保健係………	・健康観察
5人	・出席簿を取りに行く
学習………	・宿題家庭学習の点検
6人	・忘れ物の点検
体育7人……	・準備体操・用具の準備
新聞6人……	・新聞発行(1号)

一学期の係について	
	名前( )
	一学期の係名( )
1	係の仕事は楽しいですか。 アはい イいいえ ウどちらとも
2	友達と助け合って、仲良くやれましたか。 アはい イいいえ ウその他( )
3	どんなことをがんばりましたか。
4	一学期の係をふりかえり、どんなことをがんばればよかったと思いますか。きちんとできなかった理由は?
5	係活動のことで困っていることは。
6	あなたの係はみんなの役にたっていますか。 アはい イいいえ
7	みんなの役に立っているところは どんなところですか。
8	あなたの係でがんばっている人は誰ですか。
9	クラスの係でみんなの役にたっている係は?
10	一学期の係でよくがんばった係は?

●二学期の係●	
生き物係3人	学習係5人
レク係2人	体育係5人
保健係2人	掲示係4人
給食係5人	かざり係6人
新聞係3人	

## 2 係の見直し会……………学級活動 (11月29日)

10月の第一週目の学級活動の時間に、係編成を行った。どのような係を置くかを決める際には「当番的でなく工夫のできる係、自分の得意なことを生かせる係、やっていて楽しいし、その結果クラスにも役立つ係」にしようとスタートした。

新聞係は、週1回の発行に向け、土、日もメンバーの家に集まり、新聞を完成させた。月曜日は、新聞掲示コーナーの前は、新聞を読む子でにぎわった。保健係も健康観察などの日常の仕事だけでなく保健新聞を発行するなど、徐々に工夫する様子が見られるようになった。しかし、学芸会の練習などが入り放課後の時間も取れなくなってきたため活動も停滞してきた。また、未だ工夫の足りない当番的な活動や、ほとんど活動していない係もある。そこで事前事後の一連の活動を通し、係内だけで工夫するのではなく皆のアイデアを生かしながら、より工夫のある活発な係に育てたいと考えた。

### (1) 事前

- ① 係ごとにこれまでの活動を反省する。

(朝の会) (資料1)

- ② 係長が発表する。(帰りの会)  
 ③ アイデアカードに他の係へのアドバイスを書く。(朝の会) (資料2)

### (2) 話し合い活動(係の見直し会)

- ◎ ねらい・自分達の係の仕事を増やしていきたい。  
 ・友達のアイデアも取り入れるようにしたい。

- ① 資料2のアイデアカードを、全係分プリントにし配付する。  
 ② プリントを参考にしながら全体で話し合う  
 ③ 他の係からのアイデアと教師の情報提供をもとに係ごとに活動を見直し、工夫ある活動内容を考える。  
 ④ 係ごとに活動計画表に記入する(資料3)  
 ・全員の承認を得て作成するようにする。  
 ・メンバーの役割分担がきちんとなされているか配慮する。  
 ・グループごとに情報提供をおこなう。話し合いの時間を充分にとる。

(資料1) <係活動反省カード>

係活動「力を合わせて工夫して頑張ろう」

(生き物)係

◎ もっと活発な係になるように係の問題点を話し合おう。

1、今やっていることを発表します。  
 ・カノの身長を計っている  
 ・えさをわねずあげている  
 ・お風呂に入れている。

2、楽しくなるように工夫していることを発表します。  
 べつにありません

3、困っていることは?  
 カメーび、きしかいないんですけど  
 ちとやしたほうかい  
 のか、えさたいもカノ  
 しにまっています

アイデアをください。

### (3) 事後

- ① 係ごとに活動計画を発表する。  
 (朝の会、帰りの会を利用する)

活動見直し前の様子（10月8日～11月29日まで）

係名	人数 男 女	主な活動内容の様子 ◎=工夫したこと
新聞	1 2	◎週1回の新聞発行（放課後教室で、土、日はメンバーの家で活動する）
掲示	4 0	・絵や習字をはる。一人新聞をはる。掲示物がはがれたらはる。
学習	0 5	・宿題、家庭学習調べ。朝のドリルの世話。◎家庭学習をがんばった子にミニ賞状やしおりをつくってあげる。
生き物	3 0	・カメの世話。週1回お風呂に入れる。・クラスに呼び掛け、グッピーを持ってきてもらい、飼う。
給食	5 0	・黒板にメニューを書く。絵を入れる。
保健	2 0	・健康観察。◎保健新聞の発行（結膜炎の予防）
体育	3 2	・準備体操、整理体操の世話。・体育用具の準備。
レク	2 0	◎レク新聞の発行。
かざり	0 6	・「みんながやさしくなるかざりつけ」をめあてにしたが、ほとんど活動がなかった。



活動見直し後の様子（12月1日～12月22日まで）

係名	人数 男 女	主な活動内容の様子 ◎=工夫したこと
新聞	1 2	◎週1回の新聞発行。4コママンガを入れたり、季節にあった内容を選んで、新聞にのせた。
掲示	4 0	・絵や習字をはる。◎新聞でイラストコンクールをよびかけた。コンクールの優勝者に賞状をあげた。
学習	0 5	・宿題、家庭学習調べ。朝のドリルの世話。◎家庭学習をがんばった子にミニ賞状やしおりをつくってあげる。◎学習新聞を書いた。◎レク係と協力して、お楽しみ会の計画をした。

生き物	3	0	・カメの世話。◎カメの生態調べ。動物クイズを出すため本を読んだ。◎クイズを出した。
給食	5	0	・黒板にメニューを書く。絵を入れる。◎クイズとなぞなどを準備し、給食準備時間に行った。
保健	2	0	・健康観察。◎保健新聞の発行（結膜炎の予防）◎保健の先生にインタビューをした。紙芝居をした。休まなかった人に賞状をあげた
体育	3	2	・準備体操、整理体操の世話。・体育用具の準備。◎フットベースやハンドベースの試合を計画し実行した。
レク	2	0	◎レク新聞の発行。◎お楽しみ会の計画をたてた。ゲームやクイズを出した。優勝した子に賞状やメダルをあげた。
かざり	0	6	・「みんながやさしくなるかざりつけ」をめあてにしたが、ほとんど活動がなかった。◎クリスマスらしいかざりつけをした。

※月曜日の休憩時間を固定して、係活動日とした。



(資料2)

(けいじ)係 12月 活動計画カード

月 週 日 月/日-月/日	やること	くふうすること
1 12/2-12/4	イストコンクルの準備	
2 12/5-12/11	イストコンクルの準備	絵のうまい人に賞状をあげる 残念漢もあるよ
3 12/12-12/18	・4コママンガクイズを入手 新聞をか	みんなを楽しくせよ うに何かがか
4 12/19-12/24	発表会	イストコンクルで入せん以外の絵をほめて褒めてお祝い

(資料3)

### 3 係の発表会

#### (1) 発表会の計画

(学級活動指導案)

平成7年1月20日(金) 3校時

4年2組 男子19名 女子17名 計36名

授業者 島尻 律子

#### 1 議題「係の自慢発表会」の計画を立てよう

#### 2 議題設定の理由

##### (1) テーマとのかかわり

望ましい学級集団とは、「心理的な結びつきが強く、個人の要求、願い、期待が可能な限り満たされ、しかも、自発的に、協力しながら集団活動のできる学級」である。しかし、このような望ましい学級集団は、初めから成立しているものではなく、教師の適切な指導や助言と、児童の自主的、自発的な活動により、徐々に作りあげられていくものである。

係活動は、係という小集団を単位とした、自主的な活動であり、学級内の仕事の分担処理という実践的な活動である。その活動をすすめる中で、自分や友達の“よさ”に気付き、よりよい人間関係を結ぼうという意欲や、学級への所属感も育つと思う。つまり係活動の活性化は、望ましい学級づくりの要となり得ると考え取り組んできた。

##### (2) 係活動における児童の実態

二学期は、一学期の単調な係活動の反省から、「楽しく」「役に立つ」「創意工夫」をめあてに編成を行い、質の高い係活動をめざして取り組んだ。途中「係の見直し会」を契機に、それぞれの係で、自主的に、工夫して活動する姿が見られた。例えば、

- ・新聞、情報係……週一回の新聞発行。季節に合った内容、割付けの工夫。
  - ・生き物係……カメの生態調べ。動物新聞づくり。
  - ・保健係……保健の先生へのインタビュー(かぜの予防法)メダルづくりなど
- それぞれの係で、活動の楽しさを味わっているようである。

又、係についてのアンケート調査の結果からも、把握することができる。

		はい	いいえ	どちらともいえない
仕事は楽しいですか	一学期	13名	8名	15名
	二学期	23名	4名	9名
工夫して活動したか	一学期	1名	35名	
	二学期	25名	11名	
役に立ちましたか	一学期	15名	21名	
	二学期	11名	25名	

### (3) 議題について

児童のアンケート調査の結果からも、二学期は、それぞれの係なりに、工夫することを心がけ、楽しく係活動に取り組んだことが分かる。そこで「係の自慢発表会」という発表の場を設定することにより、「一人一人、がんばったんだな。」という満足感を味わってほしい。又発表という目標を持たせることにより、さらに活発な活動の意欲づけになると考える。そして、未だ、当番的な単調な（工夫の仕方のわからない）係には、他の係からのアドバイスを受れたり、教師の援助を受けながら、三学期の創意工夫のある係活動へと発展させたい。

「発表会」は、活動への意欲づけの一つであるとともに、一人一人にとって満足感をもたらし場となり得ると思う。お互いのがんばりを認め、感謝し合う発表会としたい。

### 3 指導計画

○1月17日（火）	二学期の係活動について、グループごとに反省し反省用紙に記入する。（・楽しかったこと・がんばったこと・工夫したこと・工夫のたりなかったこと）	朝の会
○1月18日（水）	「係の自慢発表会」の議題を学級役員が知らせる	朝の会
○1月19日（木）	係グループで集まり、発表の内容と方法について、意見を出し合いまとめる。（おおまかでよい）	朝の会
○1月19日（木）	計画委員会による議題の検討と、話の柱の設定	放課後

### 4 指導のねらい

- (1) それぞれの係の発表を通し、お互いのがんばりや成長を振り返る（よさの発見）
- (2) 係の自慢発表会へ向けて、係活動をさらに活発にさせる。
- (3) 創意工夫した各係の仕事内容を理解し、三学期の係活動の意欲づけとする。

### 5 指導過程の工夫

- (1) 発表の内容は、二学期の各係の反省資料をもとに、係としてお願いしたいこと、教えたいこと、紹介したいことなどから考えさせる。
- (2) 新たな工夫を入れることは、発表会の経験のない子供達にとっては難しい。教師の援助が多分に必要であるが、自分達自身でがんばったという意識を損なわないようにする。
- (3) 方法としては、紙芝居、TP、ペープサート、劇など、多様にあることを知らせ、かたよらないよう助言する。
- (4) 他の係にも目を向けさせ、アドバイスするなど、相互交流できるよう援助する。

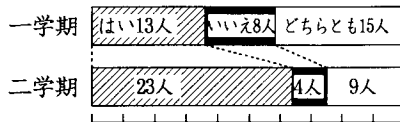
## 6 展開

議 題	「係の自慢発表会」の計画を立てよう	
話し合いのめあて	楽しい係の自慢発表会になるよう、よい考えを出し合おう	
提案者、司会グループ	学級役員、司会、副司会、ノート記録（2人）黒板記録（2人）	
提案理由	「楽しく」「みんなの役に立つように」「工夫して」をめあてに、係の活動ががんばってきました。それで、みんなに係の自慢をしたいし、又楽しい集会にしたいので、この議題にしました。	
話し合いの順序	予想される子供の反応	教師の支援
1. 二学期の係活動の様子を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○みんな楽しく活動できたんだな。</li> <li>○工夫したことが、こんなに多くなったんだな。</li> <li>○他の子は、役立っていると思ってくれたんだな。</li> <li>◎自分達の係の自慢をたくさんしたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係活動に対するアンケート調査の結果（資料①）をTPで見せ振り返らせることにより二学期のがんばりを思い出させる。</li> <li>・係ごとの反省カード一覧表（資料②）を提示し、他の係活動の様子も知らせよりよい発表会にしようという意欲づけをしたい。</li> </ul>
2. めあての確認。 （提案理由の説明）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がんばったこと、工夫したことを知らせる</li> <li>○友達のがんばりも認めたい。</li> <li>○楽しい集会にしたい。</li> </ul>	
3. 話し合い。 （1）日程と時間の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2月1日にやるんだな。</li> <li>○各グループ5分程度の発表だな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時を知らせ、発表の日を知る。</li> <li>・係の持ち時間を知らせることにより、内容をしぼることができる。</li> </ul>
（2）全体で、発表の内容と方法について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の係はクイズをやるんだな。</li> <li>○調べたこと発表だな。</li> <li>○「係」は、インタビューを入れると楽しいのができそうだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会でおおまかにきめた内容を発表させることにより、自分の係の参考にしたたり、他の係へアドバイスできるようにする。</li> <li>※時間をかけず、気づく程度でよい。</li> </ul>
（3）係グループで、発表と内容についてくわしく話し合う	<p>内容は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「がんばったこと」「工夫したこと」「みんなに知らせたいこと」などの中から決めるんだな。</li> </ul> <p>方法は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「OHP」「紙芝居」「ペープサート」などがあるんだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての発表会なので、内容については、教師の援助を多く受けることになると思うが、子どもの、「がんばった」「よい考えを出した」という意識を損ねないようにする。</li> <li>・出来るだけ方法が偏らないよう、多くの種類を紹介する。</li> </ul>
4. 決まったことを確認する。		
（1）話し合いについて感想を発表する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○なんとかまとまってよかった。</li> <li>○発表会の日が楽しみだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちを発表させ、楽しい発表会になるよう意欲づけをする。</li> </ul>

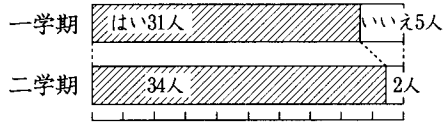
- 評価 (1) 教師の援助を受けながら、創意工夫ある、内容や方法を考えることができたか。  
 (2) 積極的に話し合いに参加することができたか。



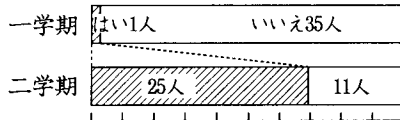
(1) 係りの仕事は楽しいですか。



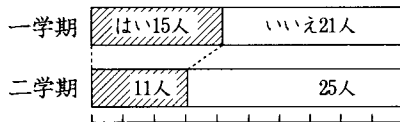
(2) 友達と助け合いましたか。



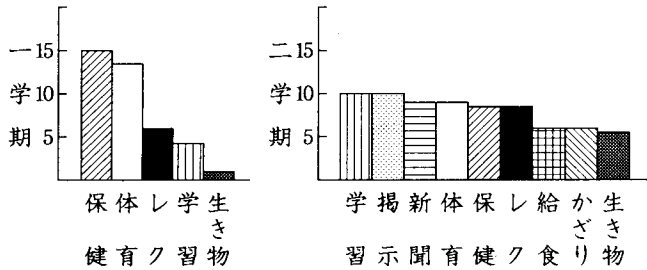
(3) エ夫して活動しましたか。



(4) あなたの係は、クラスの役に立ちましたか

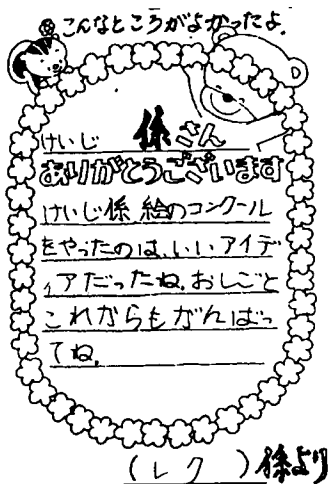
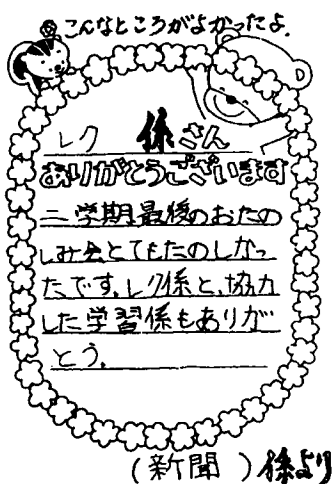


(5) クラスのために役に立っている係は



(新聞&情報)係	
楽しかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>いっしょにやめたパートナーの字がきれいかわらいう考えてくれるので毎週書くのが楽しかった。</li> <li>みんながいっしょに書けるのでとても楽しかった。</li> <li>みんなで協力した。</li> </ul>
がんばったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週一回も休まずに書いたこと。</li> <li>「フリス」をいっしょに考えた。</li> <li>みんなが好きなことをかきおこした。</li> </ul>
工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>デュママンガを書いたりその季節にちなんだものを書いた。</li> <li>色ぬりもきれいにしました。</li> </ul>
工夫をすればよかったな	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞、情報、ねの、情報、かあまり出せなかったこと。</li> </ul>

(保健)係	
楽しかったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健しんぶんをつくらせて二人でたたくこと、仲よしなので楽しかった。</li> <li>みんなで協力した。</li> </ul>
がんばったこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健の先生にインタビューしたこと。</li> <li>けいこうがはっぱをわすれて取りに行った。</li> </ul>
工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>けいこうやかせの予防。</li> <li>新聞をかいたこと。</li> <li>かみしばいをくって、休み時間、みんなにみせたこと。</li> <li>メダルや賞状をつくらせたこと。</li> </ul>
工夫をすればよかったな	<ul style="list-style-type: none"> <li>もっともっとがんばってみんなを楽しくする工夫をすればよかった。</li> </ul>



## 7 授業後の反省と考察

### (1) 二学期の係活動を振り返る段階

- アンケート調査の結果（一学期と二学期を比べる）をOHPで写し出し、一目で比べることが出来た。「楽しかったな。」「友達と協力することが多くなったな。」と感想があった。特に、「工夫した」では、子供達も満足した様子だった。
- クラスの役にたったか。の項目では、二学期の方が人数が低くなっている（15人→11人）子供達の意識の中には、当番的な係をクラスの役に立つ係と受け止めているようである。
- クラスの役に立っている係は。の項目で、自分達の係は、楽しかったけれど、役立っているとは思わなかった。でも、他の子は役立っていると思ってくれたんだな。うれしいな。という気持ちを持つことができた。（自己有用感）
- 資料②の提示については、一つの係を紹介し、残りはプリントにし配付する方がよかった。ここで時間を取りすぎた。

### (2) 話合いの段階

- 全体で内容と方法を話し合う。では係どうしの相互交流をねらいとしたが、他の係の発表内容や方法にアドバイスする余裕はなかった。
- 係で内容と方法を話し合う。では教師の用意した参考資料をもとに係内で話し合った。活発に話し合う係とそうでない係とばらつきがあったが、教師の助けをかりながら、係でまとめていった。時間が足りなかったため、残りは放課後話し合うことになった。
- 肝心の「係内での話し合い」に充分時間を掛けることができなかった。

\*時間配分が不十分だった

## 8 話し合い後の実践の様子

- 参考資料をもとに教師の助言を受けながら、内容、方法を決めた。  
（係らしい内容で、工夫したこと、教えたこと、紹介したいことのポイントをおさえ決定していった。）
- 発表会へ向けて、係間で協力し、楽しみながら熱心に取り組む姿がみられた。  
（準備に一週間かかった。朝の会、45分の休憩時間を利用）
- レク係とかざり係が協力し当日のプログラムと進め方について話し合った。

係	内 容	方 法
学習	家庭学習について調べた事	TP
保健	かぜの予防	紙芝居
生き物	動物クイズ	紙芝居
給食	栄養の歌紹介	歌と踊り
体育	雨の日の室内での遊び	ロールプレイ
新聞・掲示	十二支の話	パネルシアター
レク・かざり	当日の司会と教室の飾り付け	

- (2) 係の発表会  
(学級集会活動)

## 「係の自慢発表会」

### 1 集会活動のねらい

- (1) それぞれの係の発表を通し、お互いのがんばりや成長を振り返る。
- (2) お互いの良さをみつけることにより、クラスの仲間意識を育てる。
- (3) 創意工夫した係の仕事を理解し、三学期の係活動の意欲づけとする。

### 2 活動計画

集会名	係の自慢発表会				
めあて	みんなで協力して楽しい集会にしよう				
司会	レク係	日時	2月1日(水) 5校時	場所	教室
プログラム			時間	気をつけること	
1. はじめのことば(司会)			5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気よくあいさつする</li> <li>・楽しい雰囲気をつくる</li> </ul>	
2. ダンス(レク、かざり係)			各		
3. 係の発表			5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声でハキハキ発表する。</li> <li>・発表は静かに聞く。</li> <li>・どの係も練習から当日の発表まで精一杯がんばったことを認める。</li> <li>・今日の発表を参考に、三学期も工夫ある活動が出来るように励ます。</li> </ul>	
①学習係……………家庭学習について					
②生き物係……………動物クイズ					
③給食係……………栄養の歌紹介					
④保健係……………かぜの予防					
⑤新聞・掲示係……………十二支の話					
⑥体育係……………雨の日の遊び紹介					
4. 先生の話			5分		
5. おわりのことば(司会)					

### 3 評価

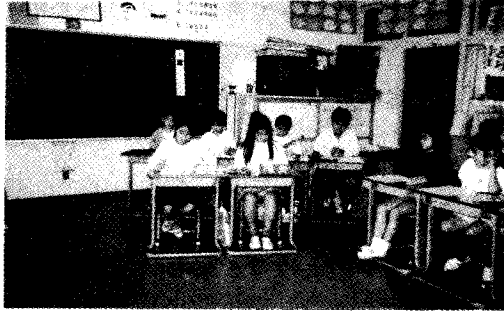
- (1) 活動の成果を堂々と発表することができたか。
- (2) 友達の発表を静かに聞くことが出来たか。
- (3) 活動を通して友達のよさや特技を見つけることができたか。

### 4 授業研究会からの反省と課題

- どの子も生き生きと精一杯発表していた。
- 真剣に聞いていたのは、発表の内容がバラエティにとんでいたからだと思う。
- 発表の持ち時間は決まっていたが、クイズに答える子が多かったり、準備、かたづけに時間がかかり、教師の励ましの言葉が足りなかった。
- 今日の授業について、子供の感想を発表させる時間をもつと意欲づけにつながった。

計画から発表会までの活動の様子

① 「議題の提案理由を発表します」



② 「話し合いの記録」



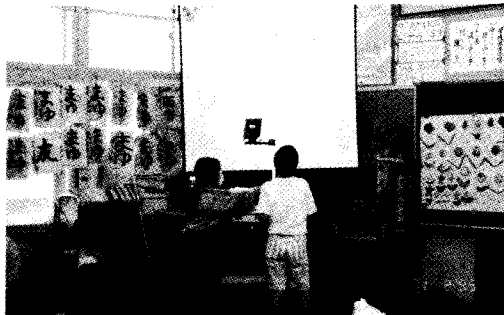
③ 係グループでの話し合い



④ 「係の発表会をはじめます」



⑤ 学習係の発表「家庭学習について発表します。」



⑥ 新聞掲示係の発表「十二支の話」



★ 児童の感想

- 司会は、プログラムを書いたり司会の練習をして大変だったけど楽しかったです。
- 給食係の踊りや歌が楽しかった。
- 保健係のMさん、Yさん。賞状やメダルを作ってみんなの為に頑張っています。
- 新聞係さん、毎週休まず新聞を出したのでえらいです。
- レク係のI君、レク新聞を作っているし、かざり係といっしょにかざりを作るのを手伝っているからえらいです。
- 体育係のSくん、とくいなスポーツを教えてください。

⑦ 「クイズに答えます。」



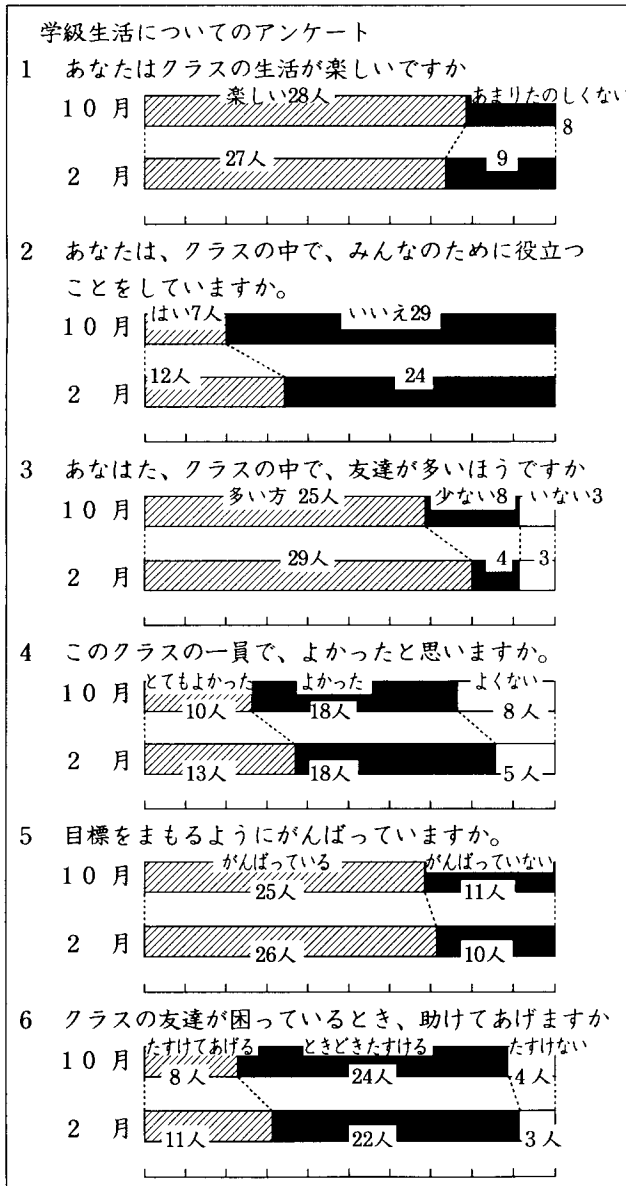
## VI 研究の成果と今後の課題

### 1 研究の成果

係活動の活性化は、望ましい学級集団を育てることにつながると考え、研究をすすめてきた。学級生活についての意識調査（クラスの役にたつことをしていますか7人→12人、クラスの一員でよかったか10人→13人）からも一定の成果をあげることができたと考える。

係活動活性化については

- 係編成時に子供達に適切な意義づけをすることにより、係への意識が高まった。
- 活動見直しや、発表の場を設定することにより、子供同士の相互交流が行われ、創意工夫し、楽しく活動が出来るようになった。



- 参考文献から、創意工夫する活動内容を得る事が出来、子供へのアドバイスの仕方がわかった

### 2 今後の課題

- 係継続の為の活動時間の確保の工夫
- これまでの規制の係にとられない係の種類や設置について
- 係内の望ましい人間関係づくりのための支援の仕方
- 高学年に向けての委員会活動発展の為の係活動の工夫（委員会と係の関係）

<参考文献>

古畑和孝著

「よりよい学級をめざして」  
学芸図書出版 1983年  
成田国英著

「新しい学級活動の指導事例」  
明治図書 1991年

大石勝男著

「学級活動12か月」

文教書院 1991年

岡村二郎著

「学級係活動の指導方法」  
明治図書 1991年